

長崎県美術館・三重県立美術館コレクション

果てなきスペイン美術—拓かれる表現の地平



① フアン・カレニョ・デ・ミランダ
《聖アンナ、聖ヨアキム、洗礼者聖ヨハネ
のいる聖母子》

1646-55年頃、長崎県美術館

展覧会について

三重県立美術館と長崎県美術館は国内では珍しい、スペイン美術を収集方針に含む美術館です。この展覧会では、両館のコレクションから選りすぐった、中世から現代にいたる約100点の作品を展観し、スペイン美術の精華を紹介します。

バルトロメ・エステバン・ムリーリョ、フランシスコ・デ・ゴヤ、パブロ・ピカソ、サルバドール・ダリ…古来スペインでは豊かな芸術文化が育まれ、多くの偉大な芸術家たちを輩出し、独自の美術史が編まれてきました。本展では、この果てしないスペイン美術の歴史を、「宗教」や「光と影」、「伝統と革新」といったキーワードとともに辿ります。中世の板絵や芸術文化の黄金世紀である17世紀の油彩画、そして20世紀のインスタレーション作品まで、スペイン美術が切り拓いてきた魅力的な表現の地平をぜひご堪能下さい。



② ホセ・グティエレス・ソラーナ《軽業師たち》
1930年頃、長崎県美術館（須磨コレクション）



ゴヤ、ピカソ、ダリ…魅力の作品群!

三重県立美術館と長崎県美術館は日本では珍しい「スペイン美術」を作品の収集方針に含む美術館。両館がこれまでに収集してきたスペイン美術作品には、フランシスコ・デ・ゴヤやパブロ・ピカソ、ジュアン・ミロ、サルバドール・ダリなど美術史にその名を燦然と輝かせる芸術家たちの作品も含まれます。本展では、彼らの油彩画の優品も展示されますので是非ご期待ください。

魅力的なスペイン美術

長崎県美術館のコレクションの中には、中世の板絵作品も含まれます。日本ではなかなか見ることのできないこれらの貴重な作品も本展に出品されています。他にも、両館が所蔵する、スペインの芸術文化の黄金世紀である16、17世紀の宗教画や18、19世紀の肖像画、様々な素材が用いられ多様な表現がなされている20世紀の平面、立体作品などもあります。そして、これらに三重県立美術館が三重県とスペインのバレンシア州との姉妹提携をきっかけに収集した20世紀のインスタレーション作品も加わります。出品数は約100点。会場では多彩な作品群をご堪能ください。

5つのテーマからスペイン美術の魅力を紹介

古来豊かな芸術文化が育まれてきたスペイン。その美術の歴史は果てしなく、全体像を捉えることは容易なことではありません。日本ではまだ知られていない重要な芸術家たちも数多くいます。そこで、本展では、「宗教—神秘なるものへの志向」、「現実なるものへの視線」、「場と空間」、「光と影」、「伝統と革新」という5つのテーマを手がかりにスペイン美術を多角的に捉えることを試みます。また、いまだ日本国内では十分に知られていないスペイン人芸術家たちの作品も紹介し、スペイン美術の幅広い魅力に迫ります。

展覧会概要

長崎県美術館・三重県立美術館コレクション
果てなきスペイン美術—拓かれる表現の地平

会期＝2024年7月20日[土]～9月29日[日]

開館時間＝9時30分～17時00分(入場は30分前まで)

休館日＝月曜日(ただし8月12日、9月16日、9月23日は開館)、8月13日[火]、
9月17日[火]、9月24日[火]

主催＝三重県立美術館、中日新聞社

後援＝スペイン大使館、インスティトゥト・セルバンテス東京

助成＝公益財団法人岡田文化財団、公益財団法人三重県立美術館協力会

観覧料＝一般 1,000円(800)円、学生 800(600)円

高校生以下無料

* ()内は前売および20名以上の団体割引料金

* この料金で、「美術館のコレクション」、「柳原義達の芸術」
(7月21日[日]まで)、「特集展示 植松永次 一土と火」
(7月27日[土]から)もご覧いただけます。

* 柳原義達記念館は、展示準備のため7月23日[火]～26日
[金]は閉室します。

* 生徒、学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。

* 障害者手帳等(アプリ含む)をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。

* 教育活動の一環として県内学校(幼・小・中・高・特支)および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。

* 毎月第3日曜の「家庭の日」(7月21日、8月18日、9月15日)は団体割引料金でご覧いただけます。

・主な前売券販売所 チケットぴあ、ファミリーマート、セブン-イレブンなど



③ トラルバの画家《洗礼者聖ヨハネ》
1430年頃、長崎県美術館(須磨コレクション)

関連イベント

□記念講演会

「憧れのイスパニア：長崎県美術館のスペイン美術コレクションの形成と発展」

講師：稲葉友汰^{いなば ゆうた}（長崎県美術館学芸員）

日時：7月20日[土]14時～（90分程度）

会場：三重県立美術館地下1階講堂

定員：140名

参加費無料、当日先着順（直接講堂にお越しください。13時30分に開場します。）

*手話通訳・要約筆記を行います。その他支援をご希望の方は、2週間前までにご相談ください。

□ギャラリートーク

本展の担当学芸員が展示解説をします。

日時：8月18日[日]、9月14日[土] 14時～（30分程度）

会場：三重県立美術館 企画展示室

*展示室に入るため、本展観覧券が必要です。展示室入口にお越しください。

*手話通訳・要約筆記、その他支援をご希望の方は、2週間前までにご相談ください。

□筆談鑑賞会

筆談でコミュニケーションしながらスペイン美術を鑑賞します。

講師：小笠原新也^{おがさわら しんや}（耳の聞こえない鑑賞案内人）

日時：①9月22日[日・祝]13時30分～（150分程度）

②9月23日[月・振休]10時～（150分程度）

会場：三重県立美術館 企画展示室等

対象：小学生以上（聞こえない人も聞こえにくい人も聞こえる人も参加できます）

定員：各回8名程度

要事前申込（9月8日[日]17時まで／ウェブ申込フォームにより受付）、応募者多数の場合は抽選

*展示室に入るため、本展観覧券が必要です。

*手話通訳を行います。

*詳細は美術館ウェブサイトに掲載します。

広報文

案内文作成などにお使ください。

【50文字程度】

三重県立美術館と長崎県美術館のコレクションより、中世から現代にいたるスペイン美術の精華をご紹介します。

【100文字程度】

三重県立美術館と長崎県美術館のコレクションによるスペイン美術展。ゴヤやピカソ、ダリなどの巨匠の作品に加え、中世の板絵から20世紀のインスタレーション作品まで様々な作品を展覧し、スペイン美術の魅力に迫ります。

【150文字程度】

国内では珍しい、スペイン美術を収集方針に含む美術館である三重県立美術館と長崎県美術館のコレクションによるスペイン美術展。ゴヤやピカソ、ダリなどの巨匠の作品に加え、中世の板絵や芸術文化の黄金世紀である17世紀の油彩画、そして20世紀のインスタレーション作品まで様々な作品を展覧し、スペイン美術の魅力に迫ります。



④ フランシスコ・デ・ゴヤ《〈妄〉 畜生の妄》
1815-24年(1877年出版)、三重県立美術館

広報用画像

下記の画像を広報用に提供します。

ご希望の方は、注意事項をお読みの上、下記連絡先に希望の画像番号をお知らせください。
Eメールにて画像をお送りします。

- ① フアン・カレーニョ・デ・ミランダ《聖アンナ、聖ヨアキム、洗礼者聖ヨハネのいる聖母子》
1646-55年頃、長崎県美術館
- ② ホセ・グティエレス・ソラーナ《軽業師たち》1930年頃、長崎県美術館（須磨コレクション）
- ③ トラルバの画家《洗礼者聖ヨハネ》1430年頃、長崎県美術館（須磨コレクション）
- ④ フランシスコ・デ・ゴヤ《〈妄〉 畜生の妄》1815-24年（1877年出版）、三重県立美術館
- ⑤ サルバドル・ダリ《海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクピドをめざめさせようとする
ヴィーナスにもう少し待つて欲しいと頼む》1963年、長崎県美術館（大光コレクション）
© Salvador Dalí, Fundació Gala-Salvador Dalí, JASPAR Tokyo, 2024 C4658
- ⑥ カルメン・カルボ《ボデゴン（静物）》1994年、三重県立美術館
©VEGAP, Madrid & JASPAR, Tokyo, 2024 C4658

※⑤と⑥は紙媒体のみ掲載可能となります。画像サイズは50平方cm以内、付随する文字数は400字以内としていただきます。

■掲載にあたってのお願い

- ・上記キャプション（作品名、所蔵者名、クレジット）を画像と一緒に掲載してください。
- ・作品画像への文字乗せ、画像トリミングはご遠慮ください。
- ・掲載物を1部、または紙面データを美術館にお送りください。
- ・ウェブサイト上に掲載する場合はコピーガードをかけ、転載禁止の旨を明記してください。
- ・画像データの広報目的以外の使用はできません。

お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課 坂本龍太、鈴木麻里子、橋本三奈

TEL:059-227-2100(代表) / FAX:059-223-0570

Email:bijutsu2@pref.mie.lg.jp

〒514-0007 三重県津市大谷町11

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>